令和8年度　江東区立深川第四中学校　　令和8年11月25日

3学年　学年通信　NO. 21

青　空

★　一昨日は、ESAT-J YEAR3　でした！ ★

前号でお知らせした【ESAT-J YEAR３】が、１１月２２日（日）深川高校で行われました。持ちものの準備は万全でしたか？　上履き、忘れませんでしたか。【サンプル問題体験版】や【令和７年度問題（令和７年１１月実施)】を活用し傾向を知り、対策を立てましたか？

都立高校を受検する人をはじめ、すでに受験がスタートしています。気持ちをさらに引き締め、三者面談や面接練習に臨みましょう。

令和9年度
江東区奨学生募集

中学校３年生・
義務教育学校９年生のみなさんへ

～高等学校等進学者を対象とする返済不要の奨学資金制度～

☆申請の資格・保護者が江東区内に1年以上居住する方
・成績要件・収入要件を満たす方
（成績は、中学校3年生（義務教育学校9年生）前期の全履修科目の評定平均値が5段階評価で3．5以上であり、かつ、世帯収入の合計が 700 万円以下であること。）
・同種の学資金等の支給、または免除を他から受けない方
・生活保護法の規定による保護を受けていない方

☆採用予定人数　50名程度

☆支 給 額

学資金	月額1万円（年額12万円）
入学準備金	10万円

☆申 込 先　・江東区立中学校・義務教育学校在学生
⇒在学している中学校・義務教育学校
（ 提出期限 各校が指定した期限内）
・区外・私立中学校在学生
⇒区役所6階1番窓口　庶務課庶務係
（ 提出期限 令和8年12月8日(火)）

☆問 合 先　江東区教育委員会事務局庶務課庶務係
℡ 03－3647－9170（直通）

★保護者の皆さまへ
～江東区奨学生募集等～

（返済不要の奨学金です。）

先日、生徒に左の【令和９年度 江東区奨学生募集】のチラシを配付しました。

書類作成等の関係上、【学校締切は、11 月30日（月）】ですので、奨学生を希望される方は、必要書類を早めにそろえ、学年担当（寺田）までお申し込みください。

今後様々な場面で、書類の提出が必要になります。その際、締切期日、厳守でお願いいたします。

書類チェック、書類作成等の関係上、提出日ぎりぎりの申し出の場合、書類作成が遅れてしまう可能性がありますので、ご注意ください。

★　「マナー講座」を実施しました ★

２０日（金）、５校時以下の目的で、【マナー講座】を実施しました。

１　高校の先生から面接の心構えや面接の受け方などの話を伺い、希望する進路の実現に向けた具体的な準備の一助とする。
２　将来的な就職等も見据えたキャリア教育の一環とする。
３　都立高校のビジネス科の教育内容について理解する。

講座の中で使用した【ワークシート】の内容を紹介します。

Q１　ルールとマナーの違いは何ですか。
・ルール ＝ 規則、マナー ＝ 心遣い



Q2　あいさつの あいうえお
・あ ＝ 明るく
・い ＝ 生き生きと
・う ＝ むつむかない
・え ＝ 笑顔で
・お ＝ 大きな声で

Q3 社会で働くために必要な力は何ですか？
・専門知識　・技術（スキル）　・コミュニケーション能力

Q4 話し方のポイントで大事なことは何ですか？
・相手に伝わるように、ゆっくり話す。
・言葉遣いはていねいに

Q5 「中学校時代に一番力を入れたこと」を聞かれたらどう答えればよいのですか。
・具体的に答える。
・学習・部活動・生徒会活動などを柱に答える。



【まとめ】
・日頃の学校生活が重要
・面接は言葉のキャッチボール
・受験する学校の期待する生徒像を調べる。

【マナー講座を振り返って】 … 生徒のみなさんの生の声

★ マナー講座で学んだこと ★

・ルールは規則。マナーは心遣い。
・少しの所作で相手に与える印象が変わる。ノックは3回、いきいきと話す。
・面接に大切なことは、形式的な行動に加え、その人の内面的なものを読み取られること。
・面接はその時だけでなくて、学校生活が重要だということ。
・自分という素をしっかり出すことも大切。
・笑顔の大切さを知った。
・面接練習や入試本番で自信をもって臨めるように、まずは普段に授業や先生への挨拶から実践していきます。
・面接の場で意識すべきことは普段から練習することで得られる基本的なものばかり。

★ 印象に残ったこと ★

・「ここの高校に行きたい」という意志が大事だということ。
・【採点される７つの項目】は知らなかったので、意識して生活していきたい。
※【採点される７つの項目】 ①動作　②表情　③理解力　④具体性
⑤態度　⑥意欲　⑦表現力
・【面接は、言葉のキャッチボール】
・面接では、準備してきたものをすべて暗記するのではなく、キーワードを覚える。
・表情を意識することで、相手に与える印象が変わる。
・歯を見せるような笑顔が苦手で避けてきたのが、その苦手なことがとても重要なことだった。意外だった。
・結論から答える。前置きをなくす。
・マナーの心遣いは日頃の学校生活によって作られる。日々の積み重ねが大切。
・マナー講座では、社会で働くために必要な力を学んだこと。
・都立高校は、【学校の期待する生徒像】が大事。しっかり調べて、読み込む。
・相手への配慮を形にする重要性を学ぶことができた。
・社会で働くために必要な力。
１ 専門知識　２ 技術　３ コミュニケーション能力
・高校で普通科に行っても、大学では学科を決めなければならないということ。
・改善の余地がある。

★ 自分のマナーを振り返って ★

・普段から、食事のマナーや所作が完璧な人はいないと思うし、大変だと思うけれど、面接などのきちんとした場では、相手のためにも自分のためにも、不快にならない所作を身につけていきたい。
・いい方だと思っていたが、細かいところを注目してみると、まだまだだった。
・自分は相手に伝わるようにゆっくり話すことができていなかった。
・無意識に足を組んでしまっていたので、改めないといけないと思った。
・普段の椅子の座り方がよくない。
・普段、自分の態度が悪いと再認識した。特に口調は今後意識していく必要があると感じた。その他にも今日のマナー講座で学んだ理想の態度と自分の今までの態度を比較して、改善に努めていきたい。

★ 面接練習に生かしたいこと ★

・やっぱり深川四中の伝統「あじみ」をいかしていきたい。
・学校の中では、【あじみ】をしっかり守れているけれど、習慣化はできていないと思うので、習慣化する。
・部屋に入る前に身だしなみを整える。
・しっかりと「お願いします」と言って、お辞儀をする。
・緊張しても声や顔などに出さずにゆっくり話すことを心がける。
・会話のマナー姿勢・目線・手の位置・服装を意識する。
・スマイルをナチュラルにできるようにする。
・スマイルを忘れず、相手にも聞こえる大きな声で、うつむかず、自信をもってできるようにしたい。
・面接官に敬意をもつ。
・聞かれたことは、具体的に答える。
・今まで、面接は自分には関係ないことだと思っていた。でも、今日のマナー講座を受けて、将来のためにも必要なことだと分かった。
・たとえ知っている先生でも先生に対する態度や言葉遣いに気を付けていきたいです。校長先生がよく朝礼で言ってくださっていように、「練習は本番のように」を頭に焼き付けて、面接練習でも本番のように頑張っていきたいです。
・具体的な文を完成させるのではなく、キーワードをまとめて文を作る。
・言葉の発音をはっきり。色々な質問を受けて答える練習。面接以外の動作もしっかりきれいに。